

## チーム東中 栄光の足跡

☆第4回男鹿潟上南秋中学校秋季体育大会☆  
令和2年9月19日～20日

【陸上競技※12日】〔男子〕共通200 ㈬3位・佐々木煌生, 共通400 ㈬1位・伊藤龍翔, 共通800 ㈬1位・伊藤龍翔, 2年1500 ㈬1位・武田菜大, 共通3000 ㈬1位・武田菜大, 共通走り幅跳び2位・佐々木煌生〔女子〕2年100 ㈬1位・佐藤杏, 共通800 ㈬1位・佐藤杏, 1年1500 ㈬1位・伊藤翼, 2年1500 ㈬1位・小林夕尋, 共通400 ㈬リレー2位・柏木愛子・伊藤翼・小林夕尋・佐藤杏【柔道】〔男子〕団体準優勝, 個人50 kg級1位・杉本龍聖, 60 kg級1位・越前虎太郎, 2位・清水滉大, 3位・吉田文仁, 73 kg級3位・板垣英利〔女子〕団体優勝, 個人44 kg級1位・小玉星乃華, 52 kg級2位・笹渕季来, 57 kg級1位・林音芭, 70 kg級1位・鎌田巴, 2部1位・佐藤あやの【バスケットボール】〔男子〕準優勝〔女子〕準優勝【バレーボール】3位【ソフトテニス】〔男子〕団体3位〔女子〕団体5位, 個人1年3位・佐々木萌百, 白山愛来, 3位・飯野乃々花, 田村絢音【卓球】〔男子〕個人準優勝・齋藤快【軟式野球】準優勝

☆県中学生ラグビーフットボール交流大会☆  
令和2年9月22日 優勝

☆県中学校秋季ラグビーフットボール大会☆  
令和2年10月3日 優勝

## 東中祭に花を添える

県農林水産部園芸振興課から、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、花卉（かき；花の咲く草。花を観賞用とする草）の国内消費が大幅に落ち込んでおり、活用拡大を通じて日常生活での需要を喚起するため、公共施設での展示を行う計画であるとの連絡がありました。本校では、東中祭の期間に合わせて展示をお願いしたところ、このほど職員玄関前にスタンド花が飾られました。花の横には「お花があるとうれしいね」県内の農家が丹精込めて作ったお花です。地元のお花屋さんが心を込めて活きました」という表示があります。花のある空間は心がほっとして和みますし、少しせいたくな感じがします。生活に彩りと潤いを与えてくれる花卉栽培農家の方々や花屋さんのことに思いをはせる貴重な機会となりました。また、3年大森舞さんがイラスト原画を制作した東中祭ポスターも、学校祭に花を添えてくれましたので紹介いたします。なお、今回保護者の皆様にお聞きいただけなかった合唱は録音した音源をCDでお届けする予定です。



### ◆男鹿市教育委員会からのお知らせ◆

◎男鹿市教育委員会では、次の日程で「男鹿市立小・中学校再編計画 保護者等意見交換会」を開催しますのご参加ください。

日 時 令和2年10月19日(月)  
18時30分から20時

会 場 本校 体育館

問合せ先 男鹿市教育委員会（電話 24-9101）

## 学ぶことと働くことをつなぐキャリア教育 EPISODE4

### 教科を通して学ぶ「働くこと」

学校で様々な教科を通して学ぶことは働くことと次のように結び付いています。

- ①働くこと又は職業に関する知識そのものを学ぶ（例えば、社会科公民で学ぶ「人間らしく生きるための働くことの権利と義務」）。
- ②学ぶことを通して、働くことに関する価値観を身に付ける（授業で学び合うことを通して、働くことが人のためになり、人にも助けられている互恵的関係を理解すること）。
- ③学ぶことを通して、働くことに関する能力・態度を身に付ける（社会や職場で求められる様々な力、例えば、仕事と誠実に向き合うことや他者との関係を調整すること）。
- ④今学んでいることと将来働くことの関連が分かる（8月1日付け「東明」で佐藤百萌さんが『「何にでも臆することなく挑戦」「失敗を恐れない」で学ぶことが将来働く上で、自己の成長のために必要不可欠』と書いていました）。

このようなことを子供たちにも分かりやすく伝え、体験を通して実感を伴って理解したとき、更に意欲や自信は高まることでしょう。

### 学ぶことと働くことをつないで意欲を高める

ところで、意欲には二つの種類があると言われていています。一つは外からの刺激で高まるもの。例えば、「満点を取ったら〇〇を買ってもらえる」です。もう一つはその人の内から湧き出るもの。これは「楽しい!」「好きだ」「自分にとって役立つ」など。どちらの意欲がその人にとってよいかはもうお分かりのことと思います。

### 内から湧き出る意欲の高い生徒の意識は…

- ①なぜ学ぶかがはっきりしている。
- ②今学んでいることが将来役に立つと思っている。
- ③教室で学んでいることと実社会が結び付いている。

学校では、このような意識を高める学習や体験、働き掛けも大切であると考えています。例えば、職場体験学習です。この学習は学校で学んだことを試す場であり、学んだことが社会でも役立つことに気付く場でもあります。例年、夏季休業中は2、3年生がこの体験を行っています。今年ばかりは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から断念せざるを得ない状況となりました。（おわり）